【参考1】 I C T 活用工事及び簡易型 I C T 活用工事

	施工プロセス					工事成績
I C T 活用工事 (±エ1000m3未満) 又は I C T 活用工事 (小規模±エ)	【ケース1】ICT施工 ①※1 3次元 起工測量 【見積り】	プロセスの全て(② 3次元 設計データ 【見積り】	①~⑤)を活用する場合 <pre>③※2 I C T 建機 による施工 </pre> 【I C T 積算】	④ <mark>※3</mark> 3次元 出来形管理 (間接費に含む)	⑤ 3次元 データ納品 (間接費に含む)	創意工夫【施工】で加点(2項目) ☑運搬車両・施工機械等の工夫 ☑施工管理ソフト、土量管理システム等の活用 に関する工夫
簡 易型 I C 工事 (土エ 1000m3 ス C 工 I C 工事 (小規模±エ)	【ケース2】②③④⑤を ※1 従来測量 従来率)	活用する場合 ② 3次元 設計データ 【見積り】	③※2 I C T 建機 による施工 【I C T 積算】	④ <mark>※3</mark> 3次元 出来形管理 (間接費に含む)	⑤ 3次元 データ納品 (間接費に含む)	
	【ケース3】①②④⑤を ①※1 3次元 起工測量 【見積り】	活用する場合 ② 3次元 設計データ 【見積り】	□ 3 <mark>※2</mark> □ 3 ※2 □ □ 従来施工 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	④ <mark>※3</mark> 3次元 出来形管理 (間接費に含む)	⑤ 3次元 データ納品 (間接費に含む)	創意工夫【施工】で加点(1項目) ☑施工管理ソフト、土量管理システム等の活用 に関する工夫
	【ケース4】②④⑤を活 ((((従来測量 (((従来率)	用する場合 ② 3次元 設計データ 【見積り】	③ <mark>※2</mark> 従来施工 (従来積算)	④ <mark>※3</mark> 3次元 出来形管理 (間接費に含む)	⑤ 3次元 データ納品 (間接費に含む)	

- ※1受注者は、<u>上記の起工測量については、従来手法を原則</u>とするが、3次元測量データを取得するため、3次元起工測量を実施してもよい。
- ※2受注者は、施工現場の環境条件により、<u>ICT建設機械による施工が困難となる場合は、従来型建設機械による施工を実施してもよい。</u>
- ※3受注者は、<u>上記の出来形管理については、標準的に断面管理を実施</u>するものとするが、施工現場の環境条件により面的な計測による出来形管理を選択してもよい。

【参考2】 I C T 活用工事及び簡易型 I C T 活用工事を除く生産性向上に資する I C T 活用工事

次の技術等を活用した場合、生産性向上に資する工事とする。

- 例)自動追尾トータルステーション、パワーアシストスーツ、情報共有システム(ASP)、遠隔臨場、AI技術、VR技術、3次元起工測量、 2次元MC又はMG 等
- ⇒創意工夫【その他】で加点

☑【生産性向上】ICT活用工事及び簡易型ICT活用工事を除く生産性向上に資する取組みが図られている。

【参考3】創意工夫で加点するための履行確認書類(例)

技術名等	創意工夫等 別添様式1,2の作成	備考
ICT活用工事、簡易型ICT活用工事	不要	ICT活用工事計画書、出来形管理書類等でICTを活用したことが確認できる。
自動追尾トータルステーション	必要	
パワーアシストスーツ	必要	
情報共有システム(ASP)	不要	工事打合せ簿等にてASPを活用していることが確認できる。
遠隔臨場	不要	段階確認記録表等にて遠隔臨場を実施していることが確認できる。
AI技術	必要	
VR技術	必要	
3次元起工測量	必要	
2次元MC又はMG	必要	